

11月校長室だより

「城下町いざし」を学校・教室に見立てる教育活動

～学校を出て、地域で学ぶ新しい取組⑤～

2年人文類型「地域探究Ⅰ」 Mission 有子山城を攻略せよ！（有子山登山）

11月2日（火）5・6限、「地域探究Ⅰ」を学ぶ生徒のうち24名が、本校スクールキャラクターありこちゃんの名前の由来にもなっている有子山登山に挑みました。

2学期からは新出石論として、テーマ別講座に分かれ、体験を通じた探究活動を行っていますが、フィールドとしている出石の城下町の姿をぜひ俯瞰して、地域のことを考える時間にしてもらいたい、という思いから校長発案で登山を行いました。

有子山の麓、現在の出石城跡までは本校から徒歩10分。有子山は標高321m、麓との比高は310mです。頂上には六分の一衆として知られる戦国大名山名氏の但馬での拠点となる山城跡が存在します。旧出石町内には3つの著名な城跡、此隅（このすみ）山城跡（国史跡）、有子山城跡（国史跡）、出石城跡があります。



1569（永禄12）年に羽柴軍により山名氏が拠点としていた此隅山城が落城。1574（天正2）年頃に新たな拠点として築城したのが有子山城です。しかし1580（天正8）年再度秀吉の弟羽柴秀長に攻められ落城。以降羽柴（豊臣）氏方の城として新たに石垣が施されるなど大改修され、山麓の館とともに江戸時代の初め1615（元和元）年頃までは城として機能していたようです。

当日は、小春日和の好天に恵まれ、生徒たちは各ポイントを予想していた以上の速さで通過していきました。登山口は出石城跡最上部の稻荷曲輪（いなりくるわ）の横。ここから通常40～60分で登頂できます。しかし最初の30分は休憩しやすい平坦地が全くなく、階段とロープを頼りに黙々と上を目指すだけです。

30分後、水の手である井戸曲輪を通る平坦な道を抜け、いよいよ頂上部の6つの郭（平坦地）に至ります。竹田城跡より古い手法の石垣が構築され、その威容に驚かされます。



頂上滞在時間は20分程度でしたが、私が簡単に城跡施設も指し示しながら説明を行いました。谷山川によって形成された扇状地に位置する城下町、蛇行する出石川、豊岡盆地の平坦な地形を各々自身の目で確認することができました。